

# に出かけてみよう!

・農家レストラン～

ほっとできる鹿児島の我が家に。



代表者 田中 八千代さん  
農家の仕事に誇りを持ち、やりがいや大変さを丸々体感させてくれるお宿。  
自然を感じ味わえる、自然とともにある生活。農家のありのままの姿を知ってほしい!



「去年、広島県の鞆中学校の修学旅行生を受け入れました。鞆中学校では、中学生が地元

の観光ガイドをする取り組みを行っているということで、私たちにも地元を紹介してくれました。それに感心して、今年の夏に広島県鞆の浦を訪ねて、実際に現地を紹介してもらいました。そのような縁もあり、今年も引き続き中学生の受け入れをしました。



## 農家民宿 (出水市)

農家民宿を始めたきっかけは、県の事業の農村女性海外農家体験研修でドイツとフランスの農家に宿泊したことです。まさにグリーン・ツーリズムですね。そこで自分も同じことができない間だけは、この場所で採れたもの、お茶や野菜、手作りのお菓子などこの土地ならではの体験をしてもらいたいですね。

住 出水市上大川内2704・30  
☎0996(68)2057

甘いいちごと明るい笑顔でお迎えます。

## 観光農園 (いちき串木野市)

### いちごハウス木場



営業部長 木場 由美子さん  
お客様の顔は一度見たら忘れないのが特技。人との出逢いが大好きで、農業研修生や留学生も積極的に受け入れています。

住 鹿児島県いちき串木野市大里648  
☎ / FAX 0996(36)5115

観光農園を始めたきっかけは、予定外のことが起こったことによる人手不足でした。知り合いの方に収穫しきれないいちごを摘んでもらったんです。観光農園をしようと思って始めたわけではなかったのですが、「いちご狩りをしている所ですか」と訪ねて来られても断っていたくらいです。ですが、丹精込めて作ったいちごに自分たちで値をつけて販売し、また生産者の顔が見える、そのシステムが気に入りました。今では、3世代で来てくれるリピーターの方もいます。子どもの頃に親に連れられて来ていた方が、幼い自分の子どもを連れて来て、楽しんでくれてい

るのを見るとやっぱり嬉しいものですね。

グリーン・ツーリズムの体験にきた修学旅行の学生たちには農業の体験後、定番のようにいちき串木野市の名物「まぐろラーメン」を食べてもらっています。おいしかったと言ってお土産にする子もいますね。地域の特産品を知ってもらえた上に、広めてもらうこともできます。いちき串木野市の活性化へつながってくれればいいですね。





# グリーン・ツーリズム

～農家民宿・観光農園

農家レストラン

ちやばなてい  
茶花亭

(湧水町)

手作りの家庭の味を楽しんでください。

JAあいら吉松地区女性部の有志13人で結成した「吉松ゆうすげ会」が運営。地元の茶を生かした料理を工夫し「茶づくし御膳(ごぜん)」が出来上がりました。

**住** 湧水町川西1113-7

**開** 茶を利用した創作料理

土、日のみ営業午前11時半～午後3時

(すべて予約制)

☎080 (6405) 4545まで



四季折々の食材を使ったおふくろの味をお出しします。新茶の季節には、お茶の葉を使った料理が並びます。



茶花亭は、平成21年の肥薩線全線開通100周年フェスタに合わせ開業しました。JAあいら吉松地区女性部の有志が集まってオープンさせたものです。鹿児島県のお茶の発祥といわれる般若寺茶にちなんだお茶を使った料理などを提供しています。予約制で10人から受け付けていて、町内である集会などではオーダブルの注文を受けます。

「特急 はやとの風」や「いさぶろう・しんぺい」の発着時間に合わせて、緑茶のサービスやお総菜などの販売などを行っています。新幹線が開業してからは関西や海外からのお客様などが増えています。言葉が通じないなどの課題もありますが、一期一会のさまざまな出会いがあるのが楽しみです。

予算に応じて料理も作りますし、野菜などは自宅で育てたものや地元で採れたものを使います。添加物を使わない家庭料理ですが「おいしかった」と言っていていただけると、お出しして良かったと感じます。

また、土日は吉松駅のホームで観光列車



吉松駅のホーム。観光列車が到着すると、まずは「お茶いっぺ(一杯)」でお迎えます。旅のお供に地元産の一品を。

## TOPICS



### 大学生も鹿児島でグリーン・ツーリズム!



鹿児島県では農業・漁業などさまざまなグリーン・ツーリズムを体験できます。

観光かごしま大キャンペーン推進協議会(事務局:鹿児島県観光課)では、JR西日本とタイアップし、若年層の旅行意欲を高めるため、関東・関西・中国エリアをはじめとした県外の大学生が地元の方々との交流を通じてさまざまな体験を行い、旅の素晴らしさを発見・情報発信する「鹿児島カレッジ」を実施しました。

県内の複数のエリア別に鹿児島が誇る農業、食、伝統工芸等の体験を通じて、鹿児島県の魅力を感じてもらうプログラムです。

Facebookをコミュニケーションツールとして活用し、「鹿児島カレッジ」を通じて感じたことを参加大学生が主体的に情報発信することで、鹿児島県の認知度を高め、旅行喚起を図ることを目的としています。

体験実習終了後には成果報告会が開催され、参加大学生が「鹿児島カレッジ」にて発見した鹿児島県の魅力について、若者の目線で旅行プランの企画提案を行いました。優秀な提案についてはJR西日本「JRおでかけネット」にて紹介される予定です。